

平成30年度 清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議（第2回）における主な意見

議事 清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略2020（骨子案）について

策定の基本的な考え方、基本目標について

1 第1回の会議では、基本目標①は「若い世代の定住を促進する」、基本目標②は「地域の稼ぐ力を高める」であったが、今回の骨子案ではそれぞれが「定住する若い世代をふやす」、「市の『強み』を生かして経済効果を生む」という基本目標になったことで、より具体的な目標になったと感じる。基本目標①・②と比べると、基本目標③「人を育て・つなげて地域を活性化する」という目標は分かりにくいし、今一つ漠然としている。

基本目標①「定住する若い世代をふやす」について

- 2 子育てと連動した感じで「若い世代」という言葉を使っていると思うが、そこには50歳代まで含めても良いのではないか。
- 3 「若い世代」は20歳代から30歳代くらいなのかなと思うので、40歳代を含めると、若干レンジ的には上なのかなと感じる。
- 4 職場には、40歳代でこれから結婚する方もいるので、40歳代も「若い世代」に含めて良いと思う。
- 5 日本人の方を想定して計画を策定していると思うが、入管法の改正などに伴い今後は外国人の方の増加が見込まれるので、その対策をしていけば定住化にもつながるのではないか。
- 6 「20歳代～40歳代の人口数」と「清須市に住み続けたいと感じている20歳代～40歳代の市民の割合」という数値目標を置いているが、定期的に数値を把握して、検証することが可能な数値を設定していただきたい。
- 7 これから結婚しようとか、それよりももっと若い世代が、安い賃料で住宅を借りることができるような制度があれば、子育ては次のステップとしても、そこにつながる部分があるのではないか。
- 8 定住というとやはり結婚してからで、若い世代がこの場所が良いということで居続けるというのは難しいのではないかと感じる。もう少し上の世代では、自治体の財政力が豊かであるか、教育が充実しているかということなどが引っ越してくる要因になるのではないか。
- 9 数値目標として、「清須市に住み続けたいと感じている20歳代～40歳代の市民の割合」をアンケート調査でとっていくということだが、年代ではなく、実際に子育てしている人をピックアップして数値をとることができないか。
- 10 若い世代にとって、子どもの医療費が中学校まで無料という施策は重要だと感じる。
- 11 定住を促進するためには、外から来ていただく方に対して、中に住んでいる方に対しても、清須市の良さをより分かっている方が必要で、清須市の皆さんが知っているようなことであっても、「実はこういう良いところがある」という発信をすることも大事である。

基本目標②「市の『強み』を生かして経済効果を生む」について

- 12 清洲城や朝日遺跡の周辺には、観光に来ていただいた方におカネを落とすとしていただく飲食店や小売店が現状あまりないので、地域一帯の開発や、そこまでいかななくても、観光に来ていただいた方におカネを落とすしてもらうための取組を市の方でも進めていただきたい。
- 13 空き家対策として、若い世代を取り込もうと思うと民泊施設を作ったり、それが市や商工会の補助制度、金融機関からの融資を活用するような、そういった誘致がしっかりした計画の中で成り立つと良い。
- 14 まずは観光案内のような立て看板を各所に設置し、例えば有名な小田井の市場ということで下小田井駅からスタートして、美濃路、清洲城、総見院などを、ガイドさんをつけて歩いて巡るツアーのようなものを作ってはどうか。

- 15 数値目標の創業比率や事業所数というのは、観光の方が反映されていないと感じる。
- 16 資金が市域外から流入するという前提で書かれているが、まずは市内に住んでいる人が楽しくなければいけないのではないか。
- 17 国は東京から地方へ移住して、起業される方に補助を行うという施策を展開するようだが、新しいエネルギーを清須市の観光や創業につなげていけると素晴らしいと思う。
- 18 何かしら活気を持たせていくためのインパクトのある施策ができるとうい。
- 19 観光という観点は非常に大事で、清須市内だけではなく、近隣の市町村にも色々な良い施設があるので、うまく連携がとれるとうい。
- 20 数値目標の「市内の創業比率」について、目標値が「県平均値以上」となっているが、もう少し具体的な数値を入れた方が良いのではないか。
- 21 実際に創業する際には資金面や人材面がネックになるので、市の方でもどれだけ相談があって、どれだけ金融面などでバックアップしたとうい具体的な数値があると、創業比率などの数値を出す時にも漠然とした数字ではなく、具体的なものが出てくるのではないか。

基本目標③「人を育て・つなげて地域を活性化する」について

- 22 基本目標の①と②は、具体的に色々なことが想起できるが、基本目標③は、ここで何を指してゴールにするのか、そのために何をしていくのかとういことがよく分からない。
- 23 字面にするのはもっともだとういと思うが、誰が良いのか、どうやっていくのかとういのは、時代背景からすると相当難しいのではないか。会社で働くサラリーマンであれば利害関係は合っているが、地域とういことになると難しい部分があるのではないか。
- 24 清須市には色々なノウハウを持った方が住んでみえるとういので、市と商工会、金融機関が連携してマッチングの場を設ける中で、若い世代に限らず、シニア世代の方も活躍できるような仕組みづくりが必要ではないか。
- 25 資料にあるように、取手市では官民一体となって創業する人を手助けするとうい事業をやっており、そうしたこと人も育ててつなげていく、それで地域を活性化していくとうい一つの取組になるのではないか。
- 26 市の「強み」を生かして経済効果を生む、イコールこれは人を育てて、つなげて地域を活性化するとういことで、基本目標の②と③は一体的に取り組むことが必要。商工会としても、経営者の勉強会や経営塾みたいなものを取り入れる必要性を感じており、活躍する方が一人でも増やしていけると良いと考えている。
- 27 地域それぞれに課題はあるが、地域の課題を地域で解決できるとういことが一番良いと思う。そのためには、それぞれの分野でリーダーが必要で、行政の方で開催する講座などを通してリーダーを育成し、その方たちが活躍できる場をつくっていくことで、地域住民を巻き込んで課題を解決していくとうい波ができ、地域コミュニティづくりにつながっていく。
- 28 基本目標③の「人」というのは三つの目標で一番重要で、清須市を愛している清須育ちの人がたくさん育っていくとういと思う。基本目標①とも重複していて、子育て支援や教育の充実で人が育っていけば基本目標②のところも発展して、全てがつながっていくとうい感じる。
- 29 市民参画会議ですごく良い意見がたくさん出ているとういので、これを色々なパターンで継続したり、大々的にやったり、地域ごとに分けてやったり、色々なパターンで拡大していくとうい良い意見が出てくるのではないか。その際のネーミングは「清須会議」が良いと思う。
- 30 観光協会のホームページを見ると、写真が小さかったりして魅力が伝わってこないとういので、早く直したほうが良いと思う。すごく良い特色があるので、もっと積極的に情報発信や広報に取り組んでいただきたい。
- 31 清須市にはすごく良い人がたくさんいるとういので、ふるさと大使や観光大使のとういことをもう少しうまく活用できると良い。